

インターアクト年次大会

インターアクトクラブ委員会 委員長 近藤 本淳

7月22日(日)橋本市教育文化会館にて、インターアクト年次大会が開催されました。進行はホスト校の初芝橋本高校インターアクトクラブの生徒たちが務めました。開会宣言・点鐘の後、国歌・インターアクトの歌を斉唱、開会のことばを地区インターアクト委員長の近藤本淳君が述べ、歓迎のことばを初芝橋本高校インターアクトクラブの提唱RCである、橋本RC会長中村嘉宏君と、学校を代表してインターアクト生徒代表亀谷雄介君よりいただきました。樫畑直尚ガバナーからご挨拶をいただいた後、恒例の今年度の地区インターアクトのターゲットを発表。今年のターゲットは清風南海中学高校インターアクトクラブ提唱の『Let's take a courageous step forward to make everyone happy.』(あなたの勇氣ある一歩がみんなを幸せにする)に決定しました。



午前中は、「国際理解・青年海外協力隊」と題して、元青年海外協力隊員でマラウイ共和国に数学教員として派遣された山浦 裕氏よりお話を伺いました。

午後は、「ハンディークラフト生産者の収入向上の支援について」と題し、これも元青年海外協力隊員でフィリピンにコミュニティ開発支援に派遣された平松 佑理氏よりお話をいただきました。両講師が2年間の派遣中、楽しいことばかりではなく、辛く苦しいときこそ、智慧やアイデア、地元の人々との交流の中で、自分を確立し成長につなげていったことがよくわかりました。また、冒頭、ガバナーよりJICAの歴史についてのレクチャーもあり日本の世界貢献の歴史も学ぶことができました。

